

令和3年9月30日
社会福祉法人 とらいふ
ぐっどういる境南
施設長 河野 裕子

令和3年度 第1回ぐっどういる境南
地域密着型認知症通所介護運営推進会議

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催といたしました

活動報告及び利用者状況

活動報告

4月	ミュージックセラピー	鯉のぼり貼り絵制作	亜細亜大生体験学 習 8月～、杏林大生 実習 9月～ 今年度も新型コロナ 感染症拡大防止 に伴い受入れ中止
5月	紫陽花製作	音楽の扉	
6月	七夕飾り作り	カラオケ	
7月	七夕まつり	花火貼り絵	
8月	納涼祭	歯科健診	
9月	ぐっどういる境南祭り	敬老会	

利用者状況（定員数12名）

	R2・8月		R2.2月		R3・8月	
登録者数	市内	19	市内	16	市内	21
	市外	6	市外	4	市外	4
男女別	男性	3	男性	3	男性	6
	女性	22	女性	17	女性	19
曜日別	月曜日	11	月曜日	9	月曜日	11
	火曜日	9	火曜日	7	火曜日	10
	水曜日	9	水曜日	8	水曜日	9
	木曜日	11	木曜日	8	木曜日	10
	金曜日	9	金曜日	9	金曜日	11
	土曜日	9	土曜日	7	土曜日	9

介護度別利用者数（人）

介護度別 利用者数	（R2・8月）		（R3・2月）		（R3・8月）	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
介護度 1	1	12	1	8	2	7
介護度 2	4	29	3	9	5	41
介護度 3	4	30	5	21	7	36
介護度 4	10	101	5	43	2	21
介護度 5	6	46	5	61	8	81
計	25	218	19	142	24	186

稼働率 75.1% 平均介護度 3.49

利用者月別増減（人）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
中止	0	0	4	0	1	0	0	1	6
開始	0	1	0	2	0	2	0	0	5
登録数	26	27	23	23	23	24	24	25	25

ひまわり報告

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染対策を行っての受け入れとなりました。手洗い、うがい、マスクの着用、消毒、来所前の検温の徹底。密にならないように、ソーシャルディスタンスを図り、部屋の工夫を行っての受け入れ。また、外部からのボランティアさんや実習生の受け入れを中止とし、プログラムの内容も密にならないようにすることを考慮しての実施とさせていただきます。

この1年で登録者数の変化は大幅に見られていないが、中止の方が出ているところをみると、新規利用はあるものの、入所や入院で利用中止となるケースが同等にみられていると考えられます。

今年度はサービス付き高齢者住宅にお住まいの方が、利用を試み、今までサービス利用を考えることが難しかったところが、通所に繋げることができたことにより、社会参加や他者とのコミュニケーションを通して、次のステップとしての入所に繋げることができたことはひとつの成果であったと考えます。

また、通所介護のお部屋では通所が続き中止となってしまった方が、個別対応が可

能な認知症対応型のお部屋に移行されたことにより、得意なオルガンを皆さんの前で披露するという役割、目的を持ち、休まず通所することが出来るようになったことは、認知症対応型の特徴をいかしたサービスの提供であったと考えます。

認知症の方にとって居心地の良い場所とは、環境の変化がなく、同じ場所で、同じ顔（職員）が望ましいこと、また、少人数の定員や個別対応を行えるということを考えると、地域密着型認知症通所介護の意義は大きいと考えられます。

認知症状の進行については、重度認知症（認知症自立度がⅢ以上）の割合が一年前の8月では47.7%であるのに対し、本年は43.2%と減少。全体的にみても稼働率は減少傾向にあります。その背景には、コロナ感染症の影響が全くないとは、考えにくいと思われます。以前に比べ、平均利用年数は短く、早い段階での、入所を考える家族が増えてきているものと思われます。

困難例も昨年に引き続き増えており、声を頻繁にあげる方や他の利用者の方々と交われない方、帰宅願望の強い方等に対しては、個別対応を行っています。

専門の職員を配置することで、利用者の通所日の変化を迅速に把握し、対応を行っていくことに繋がられていると考えられます。また、身体的自立が落ちている方も1年前と比較するとかなり見受けられ、ベッド休養される方が増えています。また、排泄も立位が難しく、ベッド上での交換を行う方も見受けられるようになっていきます。

毎年のことですが、夏の暑い時期には、脱水や、熱中症に配慮し、水分を取ろうとしない方、独居にて夜間の水分摂取が気がかりな方に水分摂取の促しを行っています。特に休み明けの月曜日に、脱水によるこもり熱等の症状の見られる方が多く見られ、来所後すぐに飲水を促し、対応させていただきました。

ご家族や介護事業所等の連携、協力のもと、夏をのりきられ、通所されている現状です。